

# 一五年戦争末期の雑誌(四)

——一九四四年・四五年の『主婦の友』

## 山 本 明

(一)

日本帝国主義は、「軍事的封建的帝国主義」の名にふさわしい帝国主義であった。

そうした異常については、帝国軍隊史をはじめ、日本教育史の戦争中の述叙には、くわしく記述されているのであるが、婦人雑誌にも「異常」の典型が存在するとは、考えられなかったのである。

戦争中の婦人雑誌の実状を簡単に書いておこう。一九四二年、婦人雑誌は、一五誌に統合されるが、しかし、戦前の婦人雑誌の最大の発行部数をほこつたのは『主婦の友』であり、つづいて大日本雄弁会講談会発行の『婦人倶楽部』であった。このほか、『婦人書報』は一九四四年に『戦時女性』と改題したが、中央公論社の『婦人公論』は羽仁もと子の『婦人の友』と同じく、都市中産

階級の婦人に固定読者を持っていた。『主婦の友』は、一九一六年(大正五年)二月に創刊された大衆的婦人雑誌で、どちらかかという、地方に読者が多かったのである。

こうした婦人雑誌は、世界に類のないものであり、日中全面戦争開始後は、戦争讚美、皇道実践に全力をつくす。こうした権力との一体化が、読者を増加させる道でもあったのである。とくに、大衆的婦人雑誌は、権力の拡声器となることが、読者増加でもあった。発行元と読者は、あい和して、戦時体制につき進んでいったのである。この、大衆性、好戦性というテーマは、戦前の日本文化を特徴づける重要な問題なのである。

戦前期の婦人雑誌のピークは一九三一年から三五年頃である。雑誌一般は増ページ、付録合戦をはなやかに展開したが、とくに婦人雑誌は、『主婦の友』と大日本雄弁会講談社の『婦人倶楽部』がせりあった。たとえば、一九三四年一月号の『婦人倶楽部』は

一五年戦争末期の雑誌(四)

「四大附録」つき八〇銭である。四大付録とは、第一附録「東京大阪評判料理の作り方」(四六判四一六頁)、第二附録「ペン・毛筆習字用手紙辞典、かな習字用小倉百人一首帖」、第三附録「一流大家傑作色紙十二ヶ月」(美麗印刷二枚袋入)、第四附録「お子様絵本(凸凹黒兵衛)。

この「婦人倶楽部」とせりあっていた「婦女界」は、同じく「四大附録」つきである。その内容は、第一附録「和洋美容秘帖」、第二附録「新年用習字お手本」、第三附録「新撰家庭いろはかるた」、第四附録「名画十二ヶ月」である。

これにたいして、『主婦の友』は、菊判六九八ページの本誌のほか、「二五大附録」つきで、特価八〇銭であった。

その付録というのは、第一に、「家庭作法宝典」という四六判五二二ページ箱入りの書籍付録。結婚、交際等から、行事、日常生活のすべてを網羅した百科書籍というべきもの。

第二は、子供向き付録、沖野岩三郎の童話絵本「やんばうさん」。

第三は、「新式の姓名判断(ABC占)」。

次は、いずれも一枚刷りのもの。

第四、明治天皇の御尊像

第五、皇室の御繁栄

第六、伊勢神宮御神殿

第七、明治神宮

和田英作画

松田富番画

松岡映兵画

主婦の友社写

第八、宮城二重橋

第九、富士

第二〇、国宝の地藏菩薩

第二一、東郷元帥の真蹟

第二二、乃木大将の真蹟

第二三、勝川春章の名作浮世絵

第二四、愛犬 伊東深水画

第二五、仕舞 山川秀峰画

主婦の友社写

竹内栖鳳画

高野山蔵

帝室博物館蔵

右のリストで分るように、第四附録から第十五附録までは、一枚刷りだから、まとめて茶ボールのたとうに入っていた。それも、予告発売日の二月一七日には完成せず、一七日の各紙朝刊には全面広告で「予定より二日繰り下げて一九日朝発売に確定」という広告を掲載して急場をしのいだ。

こうした華やかな附録競争は、一九四一年二月号で別冊附録そのものが姿を消し、本誌のページ数も紙の統制とともに減少した。一九四一年八月に、家庭婦人向け雑誌は一五誌に統合された。

『主婦の友』は、一九三八年一月号から連載された山本有三の「新篇・路傍の石」が当局の忌避により、一九四〇年七月号かぎりまで連載を中止することになる。さらに、一九四一年一〇月にはじまった小島政二郎の「夫婦の鈴」は、内務省から掲載中止を勧告されて、二回で中絶するなど、『主婦の友』も他誌なみの受難をこうむったのであった。

この時期の婦人雑誌は、各誌それぞれの色あいはあったとしても一誌だけの特徴を発揮することはできなかった。後に掲載する『主婦之友』一九四四年度の目次を検討すると、そのことが簡単に理解できるのである。

ところが、一九四四年一二月号から、編集はがらりと変わり、表紙には「アメリカ兵をおち殺せ」というスローガンが刷りこまれる。記事も、「これが敵だノ野獣民族アメリカ」というラディカルな記事があらわれ、敗戦まで、その調子が続くのである。

(二)

まず、『主婦之友』一九四四年一二月号についての、戦争文学研究者高崎隆治氏の意見を引用しておこう。(『一億特攻』を煽った雑誌たち)、第三文明社一九八四年刊。

「昭和十九年十二月号の『主婦之友』の編集内容は異様である。他の婦人雑誌に較べてという意味もむろんあるが、同じ『主婦之友』の他の巻号と比較してもそれは特異である。婦人雑誌だけではなく総合雑誌をはじめ私の知るかぎり、あの戦争下にこれほど突出した異様な雑誌は他に例をみない。

一般に戦争末期の婦人雑誌は極度のヒステリー状態に陥って著しく冷静さを欠いているのが通例だが、はたして『主婦之友』をヒステリーといっているのが通例だが、はたして『主婦之友』をヒステリーといわなければならないようである。というのは、

一五年戦争末期の雑誌(四)

ヒステリーであろうがなからうが、読者がそれに対して冷静な判断を下しえたかどうかという別の次元の問題が生じてくるからだ。」

この一二月号の表紙が、「アメリカ人を**おち殺せノ**」である。本文各ページの上部には、表紙のスローガンのほか、「アメリカ兵を生かしておくなノ」、「アメリカ兵をおち殺せノ」の三種類が印刷されている。それまでのスローガン、たとえば「米英撃滅」、「大東亜共栄圏の建設」とは次元がことなっており、「アメリカ人を**おち殺せ**」は、異質なスローガンといえよう。本文の「これが敵だノ野狂民族アメリカ」には、アメリカ人は「キル・ジャップノ」を合言葉にしていると書かれている。

「キル・ジャップノ、キル・ジャップノ」。しかと見よ。前線のアメリカ兵や国内の男どもは言うまでもなく、女子供の果にいたるまで狂気の如きその日本人抹殺熱をノ

今や敵アメリカはルーズベルトを先頭に、全国民あげて獣化せる一大団結もて、わが一億同胞の血潮を喰ひ盡さんと襲ひ来る。

奴ら自身のおくなき贅沢と、酒池肉林の混乱とのために、神国日本的一切をあげてその犠牲たらしめんと襲ひ来る。

奴らを殺すか

奴らに殺されるか

われらの前には、ただこの二つの途があるのみ」。

この一二月号で、突然「**おち殺せノ**」という過激なスローガン

が登場する理由が、私には分らない。編集中の一〇月一六日に、台湾沖航空戦の「戦果」が発表されたとはいえ、なに事が、主婦の友社で起ったのであるうか。九月一日付で、主婦之友社社長兼編集長兼筆の石川武美が統制会社日本書籍配給株式会社の社長に就任したが、そのために、自社の雑誌の戦争協力度をエスカレートしたのだろうか。同じ号に、「懸賞募集・米鬼絶滅を期する一億の合言葉をノ」というアピールが掲載されている。これまでは「撃滅」だったものが「絶滅」に変わっている。

この編集方針は、翌年そのまま、ひきつがれる。一九四五年一月には、「毒獣アメリカ女」という文章がある。「アメリカの全身全霊は、残忍、淫乱、淫暴で充ち満ちている。全くの動物である。この動物は性慾と金と物との満足水準を引上げるためには、生命をかけて真剣になるのである。この動物が、『われらの欲望を満足させるための大邪魔者』と信じて疑はぬ日本を、永久に地球から抹殺すべしと立ち向ってきているのである」。

この「論文」の冒頭には、シルヴィア・シドニーが映画「デッド・エンド」の完成パーティで、男女ともに真裸になって祝杯をあげたというのを、「淫乱とも頹廢とも実に言葉がない。もうそれは牡と牝との動物が、性慾をむき出しにして喜び騒ぐ狂乱である」と告発する。

この号、じつは、一九四五年の一月に私は読んだのである。国民学校初等科六年生で、中学の受験をひかえていた時期であった。久しぶりに面白く、胸をドキドキさせて読んだ記憶がある。よう

やく女性に関心が芽生えてきた時期でもあって、この「論文」を何度も読んだのであった。

この一月号には、「敗けたらどうなる、敗戦国の惨状を見よ」というエッセイも掲載されていた。イタリヤの「実状」のレポートである。「イタリヤは、大量失業、飢饉、淫売、犯罪の四つに代表されると言つてよい。赤ん坊の実に九十五パーセントまでが栄養不足で死んでいる。婦人達は統々売笑婦になっている。男子の殆どは失業者で、漸く仕事を見つけた場合でも、一日働いて得る金は僅か三十リラに過ぎず、紙巻煙草一本も買へない。……警備治安の任に当るべき米英兵は一体何をやっているのか。素質の極度に悪い彼らは酒を食つて街をノシ歩き、哀れな民衆を『この宿無し奴等』と小突廻し、足蹴にかけ、面白がつて半殺しにする。婦女子に対する暴行は彼らのお家芸だ」。

こうした敗戦の恐怖を宣伝し、「ああ、戦争には絶対に向けてはならない。敗けた者は、どんな仕打ちを受けようとなす術はないのだ」と釘をさすことを忘れないのである。

なお、一月号の欄外のスローガンを書き記しておこう。

アメリカ兵をぶち殺せ

米鬼を一匹も生かすな!

米兵を生かして帰すな!

アメリカ兵を生かしておくな!

二月号、三月号は、戦場における特攻隊と、生産工場における「特攻精神」で、一二月号、一月号のような「米鬼絶滅」記事は少なくなってくる。なお、欄外のスローガンを列挙しておこう。

二月号

米鬼一匹も生かすな!

米兵を生かしてかへすな!

三月号

大君の怒り給へる米鬼撃て!

寝た間も忘るな米撃必殺!

一人十殺米鬼を屠れ!

警はとるぞ女でも!

ぶつつける一億の肉弾!

三月号の「大君の怒り給へる米鬼撃て!」は、一月十五日、伊勢神宮が爆撃を受けたことを指している。当時、私は、このスローガンにおどろいた記憶がある。「大君」が「怒る」という人間の行為をすることを表現していいのだろうか、「少国民」の私は首をかしげたのであった。

註

【主婦之友】一九四四年一二月号についての私の当時の感想は、一九七八年頃に山中恒氏に話したため、山中氏が記録してくれて、総合教育技術誌に掲載され、のちに本になっている。山中恒「少国民の名のもとに」小学館、一九七九年刊。

一五年戦争末期の雑誌(四)

(三)

【主婦の友】の反米編集のエスカレートが、風船の空気が抜けるように姿を消すのは、六月号からである。六月号発売は七月四日。五月号発売は五月二日だから、この間に、なにかの変化があったのだ。六月号には、欄外のスローガンも姿を消す。

七月号もスローガンは掲載されず、特集は「戦ふ食生活」である。八月号は、敗戦後の九月十七日発売だから、もっぱら、生活記事ばかりである。

ところが、九月一〇月合併号は、親米記事の「聯合軍進駐を迎へて——日本婦人の心得を語る」を読むと、「アメリカ兵をぶち殺せ」と書いたのと同じ雑誌であることが信じ難いのである。

一月号には、アメリカ従軍婦人記者の座談会、一二月号はアメリカ従軍看護婦の座談会と続く。こうして、【主婦之友】のヒステリックな編集は、九〇度転換して、他誌にみられないほどの平和主義、親米主義の雑誌に変貌したのであった。

註

【主婦の友】誌および主婦の友社については、次の二冊が参考になる。

【主婦の友の五十年】一九六〇年、主婦の友社刊

【主婦の友社の六十年】一九七七年、主婦の友社刊

(あとがき) 【主婦之友】のバックナンバーは、同志社大学図書館所蔵本を使用した。一九四四年度、四五年度に計三冊の欠本があり、これは高崎隆治氏の所蔵本を利用した。



一九四四年新年号(第二八卷第一号)

(一九四三年二月)

一六日発売)

全隣組必携防空必勝の訓練……………西部軍参謀 角 良晴

産業婦人戦士の監督者の座談会

勝たずばやまじ……………大本営陸軍報道部長 松村 秀逸  
陸軍大佐 陸軍中佐

プーゲンビル島沖海戦記……………海軍報道班員 小柳 誠

日本精神講座(母・妻・娘の道―七)……………斎藤 瀏

昭和婦道の光―軍国の母を訪ねて(推薦書募集)本誌特派記者

母の戦果……………吉川 英治

交換船……………大嶽 康子

転業者道場・国民勤労訓練所を訪ふ……………本誌記者

空襲下の乳幼児をどうするか

(指導) 愛育会保健部長 斎藤 文雄  
愛育医院長医学博士

冬の子供の病気の家庭手当と看護(感冒の予防と看護)

築田 多吉

(日本赤十字社指導) 空襲下の救護(救急法)―止血法・手看

三角巾の使ひ方

決戦下の主婦の働き方工夫

(決戦食生) 戦時栄養食と保存食の作り方

勤労用通勤弁当と手軽な健康お八つ

(警視庁酒) 脚伴つき防空足袋と手甲の作り方

赤ちゃん防寒物の作り方集

男子用防寒もんべの仕立方……………大妻コタカ

(戦時生活の工夫実驗) 牛乳代用にもなる栄養甘酒の作り方

うた日記……………石川 武美

『生活家計簿』と『生活簿』のつけ方

燃料不足を解決する火無し焔炉の作り方と使ひ方

(婦道) 挺身隊(羽石光志画)……………桜田 常久

(小説) おばあさん(田代光画)……………獅子文六

(小説) 文鳥(三挺獅吉画)……………堤 千代

表紙絵……………木下孝則画

大詔奉戴……………寺内万治郎画

古賀提督……………尾崎喜八詩

護国の勲……………[斎藤瀏]  
[野田九雄]

巻頭言

家庭愛国機献納資金募集

婦人社員募集

第八回「はまれの子」推薦書募集

戦時栄養食の作り方募集

戦時生活相談

母の教育相談

婦人法律相談

更生服の作り方懸賞募集

短歌・俳句・手紙・編輯局日記

更生衣類展覧會出品募集

戦時生活講習會會員募集

【満洲版】

★印の記事は満洲版には入りません  
満洲版の記事は内地版には入りません

満洲の妊娠と育児の実験

満洲の節米栄養料理とお八つの作り方

婦人防寒勤労服と子供服の作り方

〔杉野芳子  
田中千代〕

婦人用もんべと三四歳男女児用もんべ服の作り方



一九四四年二月号 (第二八卷第二号)

(二月二十六日発売)

陸軍予科士官学校に行幸を仰ぎまつる……………本誌記者謹記

海軍雷撃機隊 実戦座談会

空襲をうけたらどうするか……………

〔防衛総司令部参謀  
防空総本部指導課長  
大本営海軍報道部  
課長 海軍大佐  
加藤義秀大佐  
小幡治和〕

生産戦に勝ち抜かん……………

〔栗原 悦蔵〕

生産戦記 (炭坑に闘ふ人々)……………

〔本誌特派記者  
若松 幸男〕

(盲導犬物語) 失明勇士の再起奮闘手記……………

〔若松 幸男〕

日本精神講座 (母・妻・娘の道一八)……………

〔斎藤 瀏〕

自由印度僻政府婦人大臣と中島南方軍報道部長の対談

一五年戦争末期の雑誌 (四)

屋根上の飛行兵……………吉川 英治

昭和婦道の光―愛は「血」を超えて……………本誌特派記者

〔防空必勝〕敵機の行動と待避……………〔指導〕〔防衛総司令部  
陸軍築城部本部〕

徴用家庭の生活設計 (徴用指導者と応徴家庭の相談会)

(生産貯畜増強) 主婦の勤労増収の実験

温い戦時栄養食の作り方十六種

お八つと戦時栄養食の作り方

〔警視庁消防部推薦〕ほろ布利用の防空兜の作り方……………瀧沢喜代子

古着更生子供の防寒下着五種の作り方

小児肺炎の子防と手当……………築田 多吉

防空と生活整理……………莊田 花子

決戦輸送に協力しませう……………横井福次郎

うた日記……………石川 武美

手軽な乾燥野菜の作り方

〔小説〕おばあさん (田代光画)……………獅子 文六

〔小説〕文鳥 (三芳悌吉画)……………堤 千代

表紙絵……………木下孝則画

女子挺身身体……………宮本三郎画

護国の勲……………〔斎藤 瀏  
川崎小齋〕

巻頭言

家庭愛国機納資金募集

第三回「軍国の母」推薦書募集

戦時生活相談

母の教育相談

婦人法律相談

更生服の作り方懸賞募集

食糧増産體驗当選発表

短歌・俳句・編輯局日記・決戦下の問題

戦時生活講習会会員募集

二月の一日講習会会員募集

【満洲版】

満洲の病氣のお灸療法

満洲の節米栄養料理の作り方

駒井 一雄

婦人防寒服と子供防空服の作り方

大日本産業  
報国会推薦

古着更生の標準型婦人産業服の作り方

杉野駒子  
田中千代



一九四四年三月号(第二八卷第三号)

(二月一五日発売)

隣組防空陣の弱点はどこか

〔東部軍司令部参謀  
審視庁消防部消防課長

稲留勝彦中佐  
竹内武

ある自爆指揮官(野阪大尉のこと)

必勝の生産戦

〔軍需省航空兵器総局長官  
陸軍中将

岩田 豊雄  
遠藤 三郎

日本精神講座(母・妻・娘の道一丸)

斎藤 瀏

子供の病氣の応急手当と看護(空襲下にも必要な母親の心得)..... 柴田 多吉

女子防空監視哨..... 本誌特派記者

女船員村..... 本誌特派記者

振武台の若桜と共に..... 本誌記者

甘藷の増産に成功した実験..... [矢島正信]

ソロモン血戦地上部隊白衣の勇士の実戦座談会..... [森田真次]

空襲下の出産と育児..... [功藤文雄  
森山 豊]

空襲下の救護(骨傷・熱傷の手当・患者運挺法).....

うた日記..... 日本赤十字社培養成課長指導

女子職業補導所案内..... 石川 武美

戦時栄養食と非常食の作り方.....

戦時栄養弁当とお菓子.....

戦時生活講習会三月の会員募集..... 大妻コタカ

家庭で出来る通勤通学防空用品の作り方.....

板額譚(玉村古典画)..... 高木 卓

(小説) あと山さき山(三芳悌吉画)..... 堤 千代

(小説) おばあさん(田代光画)..... 獅子文六

表紙画..... 木下孝則画

天使征く..... 菅沼金六画



女子勤勞挺身隊

護國の勲

巻頭言

家庭愛國機獻納資金募集

相談室案内

更生服の作り方懸賞募集

第三回「軍国の母」推薦書募集

短歌・俳句・編集局日記・決戦下の問題

講習会だより

【満洲版】

満洲で病氣を治した実験（痔の全身療法）  
満洲の節米栄養料理とお八つの作り方

婦人通勤服と子供通学服の作り方……………〔杉野芳子  
田中千代〕  
手織木綿の古着更生男子産業服の作り方……………町田菊之助



一九四四年四月号（第二八卷第四号）  
（三月一五日発売）

ラバウル血戦記……………海軍大尉 塚本 祐造  
食糧戦に勝ち抜かん（座談会）……………  
神も叫ぶ女性救国……………斎藤 瀏

一五年戦争末期の雑誌（四）

警鐘……………宮城タマヨ

全国各軍司令部民防空担任将校の座談会

昭和婦道の光―草莽の母は強し……………本誌特派記者

（生産戦記）造船所に闘ふ人々（浦賀船渠株式会社）……………本誌特派記者

航空機を造る女子挺身隊……………本誌特派記者

陸軍船舶兵……………岡田 楨子

主婦の勤勞増収の実験……………

（防空必勝）我が家に焼弾が落ちたらどうするか……………

簡易保険集配員として生活建設に成功した未人の体験……………防衛総司令部指導  
赤坂 イセ

防衛総司令部……………防衛総司令部指導  
近衛総司令部……………防衛総司令部指導  
警視庁消防部……………指導

男子用婦人用完全防空服一揃ひ（防空用上被・手甲・脚絆）……………  
頭巾・手袋・甲覆の作り方……………  
頭巾つき上着と長ズボンの男女児用防空服の作り方……………  
もんぺ服と頭巾で一揃ひの男女児用防空服の作り方……………  
婦人子供防空服用下着の作り方……………

男子用……………  
婦人用……………  
子供用……………  
完全防空服一揃ひの作り方……………

家庭で簡単にできる洋傘の張替へ秘訣……………  
戦時生活の工夫実験集（お米不足を解決する御飯の炊き方）……………

一五年戦争末期の雑誌(四)

戦時栄養食と非常食の作り方十三種

はしかとその余病の予防と手当

馬鈴薯の驚異的大増産秘訣

春野菜の作り方秘訣

うた日記

戦時生活講習会四月の会員募集

病院船と花(鈴木栄二郎画)

(小説) あと山さき山(三芳悌吉画)

(小説) おばあさん(田代光画)

表紙絵

生産出陣

学校工場

護国の勲

巻頭言

家庭愛国機献納資金募集

第三回「軍国の母」推薦書募集

戦時生活相談

母の教育相談

法律相談

短歌・俳句・編輯局日記・決戦下の問題

講習会・展覧会だより

【満洲版】

出ない母乳を出した体験

築田 多吉

〔南開栄〕  
森永 高

西 清蔵

石川 武美

桜田 常久

堀 千代

獅子 文六

木下孝則画

寺内万治郎画

〔斎藤潤〕  
安田初彦

満洲の節米栄養食とお八つの作り方



一九四四年五月号(第二八卷第五号)

(四月一〇日発売)

トラック島血戦白衣の勇士の熱血座談会

敵の盲爆とわが家の各個訓練

日本精神講座(母・妻・娘の道十)

うた日記

隣組工場の勤労増収の実験

貯蓄推進隊長の決戦座談会(氏家国民貯蓄局長出席)

ゾフテリーと百日咳の予防と看護

疫癘軍人妻の会(特別出席) 軍事保護院指導課長: 吉川 覚

(防空必勝) 敵の空襲と被害: 防衛総司令部指導

第八回「健気なほまれの子」表彰発表(推薦書募集)

女子挺身隊長と労務監督者の座談会

非常食と戦時栄養食の工夫と作り方: 川島四郎大佐指導

僅かな材料で手軽にできる布靴下と運動靴

戦時生活の工夫実験集

戦時生活講習会五月の会員募集

(小説) おばあさん(田代光画).....獅子文六

(小説) あと山さき山(三芳悳吉画)……………堤 千代

防空用婦人勤労服と子供服の作方と工夫……………〔可田菊之助〕  
〔田中 千代〕

古浴衣更生の防空と勤労用家庭婦人向エプロンもんぺ

仕立が簡単な戦時通学向八九歳と六七歳の男女児用もんぺ服

繕ひと補強の秘訣早わかり

表紙絵……………木下孝則画

親鷲雛鷲……………菅沼金六画

隣組工場……………

護国の勲……………〔斎藤 瀧〕  
〔岩田吉吉〕

巻頭言……………

家庭愛国機献納資金募集……………

更生衣類の作り方懸賞募集……………

第三回「軍国の母」推薦書募集……………

短歌・俳句・決戦下の問題……………

編輯日記・講習会だより……………

相談室内内……………

〔満洲版〕……………

満洲で育児に成功した体験……………斎藤博士選註

満斎の食生活の工夫実験……………



一九四四年六月号(第二八卷第六号)

(五月一七日発売)

野戦病院軍医の手記……………陸軍軍医大尉 大久保福信

夜間空襲と隣組訓練……………防衛総司令部 加藤義秀大佐指導

必勝の戦場生活……………〔大本營陸軍報道部〕  
〔陸軍中佐〕 親泊 朝省

うた日記……………石川 武美

日本精神講座(母・妻・娘の道―十一)……………斎藤 瀧

三神峰の稚児桜を訪ねて(仙台陸軍幼年学校) 本誌特派記者

工場寮母の献身座談会……………

夏野菜増産の秘訣……………〔東京都戦時農園〕  
〔班長〕 山本 実

疫痢の早期手当と看護―(附)空襲時の家庭の心構へ……………築田 多吉

(防空必勝)真夜中に空襲を受けたらどうするか……………

空襲下の救急薬……………〔防衛総司令部〕  
〔警視庁消防部〕 指導

戦場食の工夫と作り方……………〔京都府立医大〕  
〔教授医学博士〕 中川 清

ワイシャツと開襟シャツの補強と更生法……………川島四郎大佐指導

勤労女子指導者養成講習会会員募集……………

戦時生活講習会六月の会員募集……………

白梅の君(玉村吉典画)……………岩田 豊雄

あと山さき山(三芳悌吉画)……………堤 千代

婦人用 夏の時服の工夫と更生仕立……………〔大妻コタカ〕  
子供用 町田菊之助

平常着・通勤着・防空寝衣向の婦人子供用戦時簡単服

男子用・婦人用・子供用戦時型開襟シャツの更生仕立

表紙絵……………木下孝則画

隣組工場……………寺内万治郎画

赤ちゃん隣組

護国の勲……………〔斎藤 瀏〕  
堂本印象

巻頭言

第九回『健気なほまれの子』推薦書募集

第三回『軍国の母』推薦書募集

家庭愛国機献納資金募集

短歌・俳句・これでよいか

編輯日記

読者奉仕部相談室内

【満洲版】

流早産の予防と手当……………森山豊博士

戦場食の工夫と作り方……………川島大佐指導



一九四四年七月号(第二八卷第七号)  
(六月一七日発売)

海軍主計長戦記 海軍主計大尉 浅岡 泰昌

〈特輯〉戦ふ食生活……………〔指導〕〔川島四郎大佐〕  
〔大本営海軍報道部長〕 下田吉人博士

勝利への生産生活……………栗原 悦藏

うた日記……………石川 武美

日本精神講座(母・妻・娘の道―十二)……………斎藤 瀏

兵營の防空生活を家庭に取入れよ: 防衛総司令部 加藤 参謀

(防空必勝)子供の防護……………〔防衛総司令部〕  
〔大日本母子愛育会愛育研究所〕

戦ふ少年海員の生活を観る……………本誌特派記者

第八回『健気なほまれの子』表彰式挙行(推薦書募集)

足に合せて簡単にできる半靴下の作り方……………杉野 芳子

疎開生活……………〔上泉秀信〕  
〔成田芳子〕

(勤労婦人教育) 裕の生活……………宮城タマヨ

戦時生活の工夫実験集

夏野菜の完全利用

戦時更生衣類と更生編物展覧会出品募集

(新連載) 一号倶楽部(木下孝則画)……………獅子文六

(小説) あと山さき山(三芳悌吉画)……………堤 千代

(小説) 夏の婦人勤労簡単服と子供鍛練服の作り方と工夫

〔杉野芳子  
町田菊之助〕

仕立が簡単で活動的な半ズボン式の婦人用働さ着

型紙二枚で簡単に作れる男女児用戦時鍛錬服

表紙絵……………木下孝則画

乙女出陣……………鈴木 誠画

主婦挺身隊

護国の勲……………〔斎藤 潤  
菅 権彦〕

巻頭言

家庭愛国機献納資金募集

更生衣類の作り方懸賞募集

第三回「軍国の母」推薦書募集

短歌・俳句・これでよいか

編輯日記

読者奉仕部相談室案内

戦時生活講習会七月の会員募集

【満洲版】

満洲の健康生活……………千田 万三

中耳炎の予防と早期手当……………築田 多吉

妊娠中の病気の予防と手当……………森山豊博士



一九四四年八月号（第二八卷第八号）  
（七月一九日発売）

北九州の空襲は斯く教へる 防衛総司令部 長見中尉

〈特輯〉戦ふ育児生活……………〔大日本母子愛育会愛育研究所〕

生産と耐乏の生活……………〔防衛総司令部〕 後藤 四郎  
〔大本営陸軍報道部〕 陸軍少佐

八月の家庭菜園……………東京都戦時農園班長 山本 実

宿敵（岩田正巳画）……………尾崎 士郎

戦時食生活の工夫（南瓜の完全活用と乾燥野菜の作り方）……………〔指導〕 川島四郎大佐

（漫画）ハナ子さん一家……………杉浦 幸雄

（防空必勝の知識）台所の防空……………防衛総司令部指導

赤坊と待避・幼児と待避

鬼畜米機に撃沈された病院船白衣の勇士の手記舟岡秀雄上等兵

夏の婦人子供用下着と下穿……………池田 舟子

戦時生活の工夫実験集

うた日記……………石川 武美

（小説）一号倶楽部（木下孝則画）……………獅子文六

（小説）あと山さき山（三俱悌吉画）……………堤 千代

婦人用勤労盛夏服と子供遊び着……………〔杉野芳子〕  
〔田中千代〕

職場用や家庭着用に働き易い婦人の開襟シャツと股附スカ―

一五年戦争末期の雑誌(四)

袖と衿の裁落し布でできる健康的な子供遊び着

表紙絵……………木下孝則画

農村託児所……………鈴木 誠画

生産家族……………

護国の勲……………〔斎藤 誠 城素明〕

巻頭言……………

家庭愛国機献納資金募集……………

母の教育相談地方出張……………

第九回「健気なはまれの子」推薦書募集……………

短歌・俳句・これでもいいか……………

編輯日記……………

戦時更生衣類と更生編物展覧会出品募集……………

読者奉仕部相談室内……………

【満洲版】……………

満洲の出産準備と出産心得……………森山豊博士

満洲の食糧の貯蔵法……………



一九四四年九月号(第二八巻第九号)  
(八月一六日発売)

敵機来襲前後の五分間 西部軍司令部参謀 角良晴大佐

〈特製〉家庭の食糧生産(指導) 川島四郎大佐

桶狭間近づけり……………法学博士 穂積 重遠 男爵

特幹……………本誌記者

宿敵(岩田正巳画)……………尾崎 士郎

あだを討つ精神……………(大本営陸軍報道部 陸軍中佐) 親伯朝省

お台所の緊急措置・戦時調味料……………

日本一の女子工場海軍〇〇衣糧庁……………本誌記者

(防空必勝の知識) 爆撃と待避……………(指導) 角 参 謀

(防空必勝の知識) 警報下の台所……………(指導) 防衛総司令部

うた日記……………石川 武美

戦ふ家庭菜園(秋から冬の野菜の作り方秘訣)……………山本 実

婦人記者養成講習会会員募集……………

(小説) 一号倶楽部(木下孝則画)……………獅子文六

(小説) あと山さき山(三芳悌吉画)……………堤 千代

男女作業服と子供服……………〔町田菊之助 田中 千代〕

工場用家庭用男女両用の作業服……………

直線裁簡単仕立の上着とズボン組合せ男女児服……………

表紙絵……………木下孝則画

女子整備隊……………寺内万治郎画

学校工場……………

護国の勲……………〔斎藤 誠 中沢弘光〕

巻頭言……………

家庭愛国機献納資金募集……………

戦時生活常設展覧会予告  
短歌・俳句・これではいか

編輯日記

戦時生活講習会九月の会員募集

読者奉仕部相談室案内

【満洲版】

代用乳の作り方と与へ方

満洲の食洲の貯蔵法

道しるべ

高田戦闘機隊長の生家を訪ふ

(戦時生活の) 手軽にできる木炭の作り方

台所の非常準備と非常炊飯(指導) 川島四郎大佐

代用乳の作り方と与へ方 大日本母子委員会実業部  
小児科医長醫學博士

(漫画) ハナ子さん一家

(小説) 一号俱樂部(木下孝則画)

(小説) あと山さき山(三芳悌吉画)

身支度はよいか

防空服装と装具(指導) 防衛総司令部防空総本部

こんな手抜きはないか

頭はどうするか

頸、肩、胸、腹はどうするか

手と腕はどうするか

足指へはどうするか

完全な防空服

どれだけの装身具をつければよいか

どこのポケットに何を入れるか

表紙

父出陣

国土防衛女子部隊

東京都戦時農園  
班長 山本 実

宮城タマヨ

本誌特派記者

内藤博士

杉浦 幸雄

獅子文六

堤 千代

寺内万治郎画

木下孝則画

前田青地

前田青地

前田青地

前田青地

前田青地

前田青地

前田青地

前田青地

前田青地

前田青地

前田青地

前田青地



一九四四年一〇月号(第二八卷一〇号)  
(九月一六日発売)

空襲下の救出と救護

家庭の生産戦記(航空機を家庭で作れ)

宿敵(岩田正巳画)

うた日記

敵前生活

(防空必勝)

(防空必勝)

(防空必勝)

(十月の家庭菜園)

山口軍医中佐

尾崎 士郎

石川 武美

親泊 朝省

防衛総司令部指導

防衛総司令部指導

防衛総司令部指導

防衛総司令部指導

防衛総司令部指導

一五年戦争末期の雑誌(四)

巻頭言

家庭愛国機献納資金募集

戦時生活常設展覧会開催

戦時更生衣類と更生編物展覧会予告

短歌・俳句・これでよいか

編輯日記

戦時生活講習会十月の会員募集

指導者十談

読者奉仕部相談室案内

〔満洲版〕

肋膜炎の家庭療法と看護築田多吉

満洲の防寒物の作り方



一九四四年十一月号 (第二八卷第一一  
号) (二〇月一七日発売)

家庭 敵弾下の防空戦法 西部軍司令部 角 良晴大佐

隣組 復讐の鬼とならむ……………舟木ハツエ

(十一月の家庭菜園) 冬の準備を怠ぎませう

東京都戦時農園 山本 実  
班長技師

疎開学園の父の手記……………積 惟勝

空の白虎隊……………本誌特派記者

宿敵(岩田正巳画)……………尾崎 士郎

白金もて突撃せん

子供の急病の早期手当と看護……………築田 多吉

空襲下の食生活……………(指導) 下田吉人博士

(生産戦記) 戦ふ隣組(立川鵬翼工作隊を訪ふ)……………本誌記者

燃料の作り方

わが家の図上防空訓練実施要綱

(防空必勝の知識) 壕内生活……………(指導) 防衛総司令部

うた日記……………石川 武美

第九回『健気なほまれの子』表彰発表

(小説) 一号倶楽部(木下孝則画)……………獅子文六

(小説) あと山さき山(三芳悌吉画)……………堤 千代

防空用・勤労用

婦人 小幡 繁子  
子供 防寒着と下着、下穿の作り方 梶谷 蝶子  
男子 大妻コタカ

ズボンやもんぺ服の上に着られる頭巾つきの婦人子供防寒

用半外套

大人子供の区別なしに着られる真綿入胴着

綿入を活動向に工夫した防寒下着と下穿

ポケットつきの非常用腹巻

わが家の衣類の防蹠

縫糸と繕ひ糸の工夫

縫糸と繕ひ糸の工夫



表紙……………木下孝則画

出陣の誓……………寺内万治郎画

關ふ女子学徒

護国の勲……………〔斎藤三郎〕  
〔伊原宇三郎〕

巻頭言

これよいか、かうしたら

家庭愛国機献納資金募集

見ざる聞かざる言はざる

短歌・俳句

編輯日記

戦時生活講習会十一月の会員募集

戦時常設展覧会案内

読者奉仕部相談室案内

〔満洲版〕

満洲の防寒物の作り方

正しい待避壕の作り方



一九四四年二月号(第二八卷第一二二号)  
(二月一七日発売)

これが敵だノ野獣民族アメリカ

一五年戦争末期の雑誌(四)

神州護持……………〔北 蓮藏謹画〕  
〔高村光太郎詩〕

敵アメリカはかう言つてゐるぞノ

アメリカのこゝを突けノ……………陸軍省報道部 親泊 中佐

宿敵(向井潤吉画)……………尾崎 士郎

(漫画) ハナ子さん一家……………杉浦 幸雄

瓦斯空襲と家庭防護……………甲斐勝衛少佐

(防空必勝) 消火と待避(爆弾・焼夷弾攻撃とかく戦へ) 防衛総司令部指導

(十二月の家庭菜園) 冬野菜の防護と貯蔵……………山本 実

厳寒時の戦場食……………〔指導〕 川島四郎大佐

火無しこんろの作り方と使ひ方

家庭で出来る履物の作り方

下駄の作り方

鼻緒の作り方二種

鼻緒の上げ方

草履の作り方

下駄の更生

修理

防空用品の工夫と作り方

鉄兜用の破片除け

防空頭巾になる買物袋

男女通勤者向の肩吊り鞆二種

うた日記……………

石川 武美

一五年戦争末期の雑誌(四)

米鬼を撃つ『合言葉』懸賞募集

(小説) 一号倶楽部(木下孝則画)……………獅子文六

(小説) あと山さき山(三芳悌吉画)……………堤 千代

表紙(滅敵の航空機を造る)……………木下孝則画

戦ふ隣組工場

護国の勲……………〔斎藤 潤  
矢沢 啓月〕

巻頭言

家庭愛国機献納資金募集

短歌・俳句・これでよいか

編輯日記

戦時生活講習会十二月の会員募集

読者奉仕部相談室案内

戦時常設展覧会案内

(満洲版)

野菜の屋内作りの秘訣

喘息・扁桃腺炎のお灸療法……………駒井 博士

満洲の防空生活を強化せよ……………浄法寺中佐



一九四五年一月号(第二九卷第一号)

(一九四四年十二月)

二一日発売)

万朶特別攻撃隊

毒獣アメリカ女……………安田源四郎

敗けたらどうなる―敗戦国の惨状を見よ

空襲下の非常炊飯……………(指導) 筒井 政行

空襲下の冬の妊産婦と乳幼児防護……………〔森山 豊  
宇留野 勝正〕

帝都空襲は斯く教える……………矢野 参謀

(主婦の防空覚) 極寒時の防空対策……………(指導) 防衛総司令部

古い中折帽で男女戦闘帽の作り方……………町田菊之助

戦時生活の工夫実験集

(漫画) ハナ子さん一家……………杉浦 幸雄

軍国の母岩淵ゆり刀自を訪ふ……………本誌記者

冬野菜の箱栽培……………山本 実

防塞用 足袋・靴下・手袋の作り方……………〔中田 十十  
杉野 芳子〕

防寒下着・股引・下穿の作り方

うた日記……………石川 武美

第三回軍国の母顕彰発表(推薦書募集)

第九回健気なほまれの子表彰式挙行(推薦書募集)

(小説) 一号倶楽部(木下孝則画)……………獅子文六

(小説) あと山さき山(三芳悌吉画)……………堤 千代

表紙(熱鉄を打つ)……………木下孝則画

征け愛機……………寺内万治郎画

女子整備隊

皇国護持……………〔高村光太郎  
伊原宇三郎〕

巻頭言

短歌・俳句・これでよいか

家庭愛国機献納資金募集

読者の皆様へお知らせ

編輯日記

(満洲版)

厳寒時の防寒物の作り方

風邪とその余病の予防と手当……………

満洲の防空生活……………

冬越野菜の手入れ……………石川 武美

戦時生活の工夫実験集

銀を捧罪よう……………

風邪・肺炎の予防と手当……………

大人用靴の作り方……………

男女綿入チョッキの作り方……………

空襲下の食生活……………

婦人子供防寒着の工夫と作り方……………

一号俱樂部(木下孝則画)……………

(小説) あと山さき山(三芳悌吉画)……………

(小説) 表紙(女子整備隊)……………

神風特別攻撃隊……………

生産神風……………

巻頭言

第四回『軍国の母』推薦書募集

第十回『健気なはまれの子』推薦書募集

短歌・俳句・これでよいか

読者の皆様へお知らせ

編輯日記

(満洲版)

肺炎の家庭療法と看護……………



一九四五年二月号(第二九卷第二号)

(二月二十四日発売)

丹心特攻隊梅原少尉の父の手記

家庭・隣組防空実戦記

皇国護持(ガタルカナルの神兵)……………

生産特別攻撃隊……………

宿敵(向井潤吉画)……………

軍国の母岩田ヒモ刀自を訪ふ……………

主婦生産戦記……………

〔斎藤 樹〕  
宮本三郎  
大本営海軍報道部長  
海軍大佐  
栗原 悦蔵  
尾崎 士郎

本誌特派記者

本誌記者

一五年戦争末期の雑誌(四)

分け合ふ心……………宮城タマヨ  
満州の防空生活浄法寺中佐



一九四五年三月号(第二九卷第三号)  
(二月一七日発売)

比島挺身斬込隊戦記 滝口一等兵

初期防火に斯く勝て(名古屋空襲に学ぶ)

頑張り生活……………大本営陸軍報道部 親泊中佐

女子勤労と工場生活……………小坂大尉

うた日記……………石川 武美

戦場食生活の工夫……………(指導)川島四郎大佐

狭い土地で収穫の確実な馬鈴薯の一芽作り……………山本 実

女子生産特攻隊戦記……………本誌記者

急病の心急手当(腹痛の種類と救急処置)……………築田 多吉

女子作業服一揃ひの作り方……………大妻コタカ

男女戦闘帽用防空垂布の作り方

通学用防空子供もんぺ前掛の作り方

麻心なして丈夫な鼻緒の作り方

防空用 作業用 甲覆つき脚絆手甲・地下足袋の作り方

(主婦の防空寛)

(え書その三) 生活必需品の防護

古器利用の窯で塵芥たどんの作り方……………守屋 磐村

戦時生活の工夫実験集

(小説) 一号俱樂部(木下孝則画)……………獅子文六

(小説) あと山さき山(三芳悌吉画)……………堤 千代

表紙(防空敢闘)……………木下孝則画

特別攻撃隊出撃……………(絵と文) 伊原宇三郎

戦ふ共同炊事

皇国護持……………〔徳富蘇峰〕  
〔前田青邨筆〕

巻頭言

第四回「軍国の母」推薦書募集

短歌・俳句・これによいか

家庭愛国機敵納資金募集

滅敵の合言葉当選発表

読者の皆様へお知らせ

編輯日記

〔満洲版〕

満洲における病氣と家庭看護……………築田多吉

母の教室……………宮城タマヨ

満洲の育児法……………内藤博士



一九四五年四月号(第二九卷第四号)

(三月二十八日発売)

主婦之友昭和二十年四月号目次(絵・山口蓬春画)

B 29 撃墜王機―整備兵の記録

特攻隊松井少佐の母の手記

一億特攻の生活……………

〔防衛総司令部参謀  
陸軍中佐〕

矢野常雄

敵機侵入に万全の構へ(東部軍管区情報略図と東海・中部

地方略図)

空襲罹災家庭の体験に学ぶ

戦時生活の工夫実験集

うた日記

空襲下の急病の応急手当…………… 築田 多吉

決戦食生活の工夫(雑草・雑穀・防空食)

空襲下の妊婦の心得……………大日本母子愛育会愛育医院  
産婦人科医長 医学博士

森山 豊

ラジオの修繕法と永保ち法

男子用 ワイシャツの作り方…………… 町田菊之助

学童用ランドセル・防空頭巾・運動靴の作り方

乗馬ズボン式作業ズボンの作り方…………… 町田菊之助

男子ズボンを婦人用ズボンに、普通ズボンを乗馬式ズボンに

簡単な直し方

一五年戦争末期の雑誌(四)

(主婦の防空覧)家庭  
え書その四) 漢組

防空緊急回覧板…………… 防衛総司令部指導

春の家庭菜園手引……………

東京都戦時農園班長  
技師

山本 実

(小説) 春光の下に(田代光画)

堤 千代

(小説) 一号俱樂部(木下孝則画)

獅子文六

表紙(警報下の生産敢闘)

木下孝則画

乙女出陣の誓ひ……………

菅沼金六画

皇国護持……………

〔高村光太郎  
野田九浦筆〕

巻頭言

第四回「軍国の母」推薦書募集

短歌・俳句・これぞよいか

家庭愛国機献納資金募集

読者の皆様へお知らせ

編輯日記

(満洲版)

百日咳の家庭療法と看護…………… 築田 多吉

母の答辞……………

宮城タマヨ

満洲の食生活の工夫



一九四五年五月号(第二九卷第五号)

(五月二二日発売)

〔口絵〕 生産Z旗……………伊原宇三郎画

皇国護持……………山口蓬春筆

女性救国の気魄……………斎藤 瀏

〔巻頭言〕 硫黄島の我が勝利

戦況は不利でも日本の勝利

必勝の戦場生活……………川島四郎主計大佐

本土防衛・空の激撃座談会(某基地にて)……………陸軍航空隊

少佐、大尉、准尉、曹長

司令 本誌特派記者

帝都暴爆に学ぶ家庭防空実戦訓

司令 防衛総司令部

東部軍管区軍医部

防空総本部

〔小説〕 母の手紙……………久生 十蘭

簡易かまどの造り方……………向井潤吉画

家庭の食糧自給……………原志免太郎

春から夏の野菜作りの秘訣……………山本 実

女子生産特攻隊戦記

生産Z旗の下に……………本誌記者

隣組防空緊急回覧板

壕と壕生活を強化せよ 指導……………防衛総司令部

……………陸軍築城部本部

〔小説〕 一号倶楽部……………獅子文六

木下孝則画

洋傘の張替へと番傘・ゴム靴の修繕  
大人と子供れ下着・下穿の作り方……………杉野 芳子

家庭の戦場食生活  
買物袋・肩吊り鞆・リュックサックの作り方  
一億忍耐、敵愾心を戦力に

うた日記……………石川 武美

短歌  
俳句

これでよいか、こうしたら

編集日記

〔表紙〕 闘ふ女さき



一九四五年六月号(第二九卷第六号)

(七月四日発売)

巻頭言 日本婦道の美……………高村光太郎

皇国護持……………伊原宇三郎筆

勝利の母と妻

日本の勝利は母と妻に俟つ

本土防衛の生活大本営報道部  
陸軍中佐……………親泊朝省

特別攻撃隊勇士の妻の手記

強き絆は強き勢を生ず……………西尾 早苗

戦災家庭の生活建設

灰燼の中に起ち上る人々

特別攻撃隊員揺籃の基地

女子整備隊班長の手記……………石原 昭子

(小説) 一号俱樂部……………獅子文六

大人 伝染病の予防と看護

子供 腸チフス、赤痢、疫痢(附) 梅肉エキスの作り方

夏野菜の作り方秘訣……………山本 実

男女開襟シャツの更生仕立……………杉野 芳子

頭巾つき雨合羽の作り方

うた日記……………石川 武美

短歌……………土屋文明選

俳句……………水原秋桜子選

編集日誌

罹災家庭のための生活用品の工夫

皇国護持……………向井潤吉筆

薫風の如く……………高村光太郎

巻頭言 苦難と栄辱と

皇国と共に苦難を突破して

特別攻撃隊南方前線基地

国土まもる若き神々と共に……………本誌特派婦人記者

敵の本土上陸と婦人の覚悟……………宮城タマヨ

座談会・勝ち抜く壕生活：司会 大下宇陀尼

長汐 実(婦人科医師)

村上 トシ(隣組長)

柳 あや子(主婦)

焦土菜園の手引……………山本 実

(小説) 一号俱樂部……………獅子文六

戦場食生活 塩の上手な使ひ方……………木下孝則画

大人・子供急病の手当と看護……………築田 多吉

戦災家庭のための衣類と生活用品の作り方

うた日記……………石川 武美

短歌

俳句

編集日誌

(表紙) 生産特攻……………木下孝則画



一九四五年七月号(第二九卷第七号)

(七月三〇日発売)



一九四五年八月号(第二九卷第八号)

(九月一七日発売)

詔書

若き日本の新しき道、戦争終了の大詔を拝し奉りて

主食減配をどう解決するか

調味料の工夫

夏から秋の手入れ秘訣

胃腸病のお灸療法

(小説) 一号俱樂部

婦人用ズボンとズボン下、もんぺ下の仕立方

こはぜのいらぬ紐つき地下足袋の作り方

月経帯の作り方と衛生綿の工夫

男女児用開襟シャツの作り方

男女子用甲覆ひつき脚絆の作り方

家庭生活重宝集

食料の貯蔵法

うた日記

編集日記

(表紙) 開墾

獅子文六

向井潤吉画



一九四五年九・一〇月号(第二九卷第九号)

(二〇月一七日発売)

敗戦国日本の輝かしき前進

—神は無意味に苦難を与へ給はぬ—

座談会・聯合軍進駐を迎へて—

日本婦人の心得を語る

出席者 青木ヒサ・木村行蔵・中野五郎

戦歿者の妻への手紙

再びほほえみを

戦後の娘教育

一号俱樂部

妊娠と育児

—初めて母となる方のために—

これからの育児

秋から冬の野菜の計画的作り方

主食の工夫

—栄養食二十一種の作り方—

壕の興亡史—真白き直撃弾—

灯

慢性病の家庭療法

阿部 淑子

宮城タマヨ

獅子文六

森山 豊

内藤寿七郎

加藤 要

筒井 政行

徳川 夢声

堤 千代



脚気と神経痛の手当……………築田 多吉  
戦災家庭のための—

寝具の作り方と工夫

婦人・子供用ズボン式もんべの作り方

男子用と婦人用の

秋から冬向の下着下穿の作り方

男子用作業ズボンの作り方……………伊原宇三郎

口絵・秋晴れ

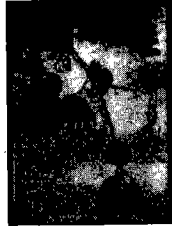
短歌……………土屋文明選

俳句……………水原秋桜子選

編集日記

荷物が沢山入る実用鞆の作り方……………三沢 君子

家庭用木炭の作り方



一九四五年二月号(第四九卷第  
一〇号) (十一月一日発売)

平和日本の建設と婦人の力

アメリカ従軍婦人記者座談会

二十年の収穫……………獅子文六

(漫画) ハナ子さん一家……………杉浦 幸雄

一五年戦争末期の雑誌(四)

揭示・表示・看板用実用英語  
婦人参政権……………下村 海南

うた日記……………石川 武美

北海道集団帰農家庭の座談会

生活重宝集……………築田 多吉

肺炎の予防と家庭看護……………

真冬に収穫できる野菜の作り方

甘藷中心の主食の工夫

これからの家庭教育児玉九十

赤ちやん物の工夫と作り方

防寒物の工夫と作り方

家庭で出来る炭の焼き方

短歌・俳句・編集日記

(小説) 高原の一夜……………石坂洋次郎

(小説) 冬を越す日……………堤 千代



一九四五年二月号(第二九卷第一一  
号) (十一月二八日発売)

苦難のなから幸福を発見

アメリカ従軍看護婦の座談会

一五年戦争末期の雑誌(四)

これからの娘と結婚……………石原 謙

もんべ脱ぐべきか……………岩田 豊雄

揭示・表示・看板用実用英語

短歌・俳句・編輯日記……………石坂洋次郎  
変な小説(向井潤吉画)……………堤 千代  
鳩の指環(伊原宇三郎画)……………

電気こんろの修繕法

婦人参政権をどう生すか……………賀川 豊彦

調理の科学川島四郎

うた日記石川武美

(特輯)冬の食生活の工夫

粉食の工夫筒井政行

栄養食の工夫と作り方北川敬三

蛋白質の話川島四郎

冬のお弁当の工夫

調味料と食料品の作り方

火無しこんろの活用法

冬野菜の箱作りの秘訣加藤要

掘炬燵の作り方……………筒井 みつ

生活重宝実験集……………築田 多吉

栄養失調症と生食法……………

婦人に出来る新内職(東京の巻)……………町田菊之助

洋裁の誌上講習(第一輯)……………

(一)大人子供の防寒上被の仕立方

(二)ワイシャツ・ブラウス・ジレー  
私の防寒工夫